

教育委員会報告

令和2年1月16日

【協議事項】

件名	学校規模適正化について
所管部課名	未来の教育課
内容	非公開

【報告事項】

件名	博物館・美術館の展覧会について
所管部課名	博物館・本陣記念美術館・宮本三郎美術館
内容	<p>博物館の「しらべてみよう！むかしのくらし」には市内外から来館がある。</p> <p>本陣記念美術館では東山魁夷作品6点に加え、今年は原画8点も展示している。</p> <p>宮本三郎ふるさと館の展示は個人コレクターのもので普段見ることのできない作品となっている。</p>
教育委員等の意見	<p>【勝木委員】</p> <p>宮本三郎美術館へ行ったが、鑑賞中に座る所がなかった。年配の方は休憩できる所があると良いと思った。</p>

件名	小松市サイエンスアドベンチャーについて
所管部課名	未来の教育課
内容	<p>12月7日に小学生ものづくりコンテストと湯浅・中山賞受賞者の発表会を行い約150名の参加があった。ものづくりコンテストでは「遠くまで飛ぶ紙飛行機を作ろう」の課題に3人1チームで取り組み飛距離を競った。湯浅・中山賞発表会では金沢大学の松原教授から継続することと試行錯誤することが大切との講評をいただいた。</p>
教育委員等の意見	なし

件名	図書館行事について
所管部課名	図書館
内容	1月は絵本かるたや本の福袋など、新年にちなんだ行事を実施。絵本かるたは、本を読んでいるとたくさん取れる仕組み。福袋はテーマをてがかりに袋を選んでもらった。テレビ取材も受けた。テーマ展示では今年の干支のねずみにちなんだ本を並べた。
教育委員等の意見	【北村委員】 小松かるたの活用や大会の状況はどうなっているか。
回答	【山本館長】 観光文化課の主管で図書館では関わりがないが、学校でクラブをつくって参加していると聞いている。

件名	令和2年度広域通学者の決定について
所管部課名	学校教育課
内容	小中それぞれ数名の応募があり面談の後、決定通知を出した。松東みどり学園は0名、松東中学校で2名となった。
教育委員等の意見	【北村委員】 大変残念な結果。新しい学校の魅力が伝わっていない。今までと違う学校という情報を発信していく必要がある。最初が肝心。 【中惣委員】 広域通学についてほとんど聞かないので、周知が不足しているように感じる。
回答	【廣田課長】 先進校でも最初から多くの応募があるというわけではなく、学校の方針が決まり、在校生の話が伝わるうちに入学者が増えてくるとのこと。来年度は校舎も完成しオープンスクールも実施する。地域の方といっしょに英語を中心に、地域の素材を活かした総合的な学習の時間も増やしていく方向性で進めている。来年度は大々的にPRしていきたい。 【石黒教育長】 義務教育学校のことについて、まだ知らない方が多い。これまでにない特色のある設備で工夫した授業ができるので、良い学校になるのは間違いない。

件名	寄附受納について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内容	株式会社小松製作所より寄附いただいた。科学教育推進のために使わせていただく。
教育委員等の意見	なし

件名	ひととものづくり科学館 12 月報告について
所管部課名	ひととものづくり科学館
内容	12 月 14 日にサイエンスフェスタを開催した。約 1,500 名の参加があり大変盛況であった。高校生大学生の学習発表や大学の研究披露の場にもなっている。 12 月 24 日の市立高校クリスマスコンサートでは 3D スタジオの星空とのコラボレーションを行った。
教育委員等の意見	【勝木委員】 3D スタジオは大変すばらしい設備だと思うが、学校の星の授業でこのスタジオを使用できないか。
回答	【浅野副館長】 利用している学校もあるが、必須化されるプログラミング教育が始まり、何度もヒルズに来ることが難しい現状にある。しかし、プラネタリウムとプログラミングを同日に行うことも可能なので、各学校にはセットでの実施を働きかけていきたい。

【その他】

件名	次回教育委員会会議日程について
内容	日時：令和 2 年 2 月 13 日（木）午後 2 時 場所：ひととものづくり科学館 1 階 わくわくホール

【教育委員からの意見・提言】

吉原委員	特になし
中惣委員	成人式でのアトラクションは大変良い取り組み。アトラクションが無い自治体もあるので、小松市は続けてほしい。

勝木委員	特になし
北村委員	成人式の国会議員紹介及びメッセージについて検討し、成人のためになる式としてほしい。 今年由市制 80 周年。学校も含めて行事等でお祝いする機運を高めてほしい。